

天然アユが湧き立つ川へ！

物部川清流保全計画

物部川ってどんな川？

香美市の白髪山を源とし、四国山地から香美市、香南市、南国市の3つの市をまたぎ、一気に土佐湾へと注ぐ長さ71kmの川です。

物部川の水は古くから主に農業用水として利用されており、その大半は合同堰及び統合堰から取水され、約3,270haの農地を潤しているほか、電力の供給や工業用水への利用など、さまざまなかたちで人々の日常生活を支えています。

また、下流域では、地下水を飲用や生活用水として広く利用しています。



物部川の課題

- 上流域では林業の衰退やシカの食害などにより、流域面積の多くを占めている森林の荒廃が進み、水源かん養の機能が低下しています。
- 川の水量不足による瀬切れや河口閉塞が起こり、アユをはじめとする生き物の遡上・降下の障害など、生態系への影響も生じています。
- 集中豪雨で大規模な山腹崩壊が起きたこと等による濁水や洪水の後の漂着ゴミ等が物部川の景観を損ねています。
- 社会基盤の整備や生活環境の変化に伴い、しだいに人と川との関わりが少なくなり、自分たちの大切な川という意識が薄れてきています。

物部川清流保全計画

高知県は物部川の清流を再生するために平成20年7月に「物部川清流保全計画」を策定し、地域住民のみならず、農協や漁協、森林組合などの団体、国や市などと連携して取組を進めています。



キャッチフレーズ：天然アユが湧き立つ川

- 目標1** 山から海まで途切れなく水が流れる川
- 目標2** 濁りのない安定した川
- 目標3** ゴミがなく、瀬・淵・トロのバランスがとれ、天然アユをはじめとし、多種多様な生き物が生息する川
- 目標4** 子どもたちをはじめ、人々でにぎわっている川
- 目標5** 流域の人々と行政の連携・協働によって、水環境の保全に向けた取組が行われている川



物部川を守る協働の取組

営農方法の工夫

「清流を守ろう ストップ！ 濁水！」

JA南国市と物部川清流保全推進協議会では、浅い水深で代かきをする「浅水代かき」の普及や「止水板」を使って水路への濁水の流出を軽減する取組を実施しています。

また、JA南国市、流域3市（南国市・香美市・香南市）、高知県では、協働で濁りの状況を調査しています。

浅水代かき実践会

主催：JA南国市稲作部会、JA南国市営農渉外課

内容：浅い水深での代かきの概要説明や実演



浅水代かきの様子



止水板設置の状況

濁りの調査



濁度計を使った濁りの調査の様子

子どもたちに川で遊んでもらう取組

「子どもたちを川へ！」「物部川を楽しもう！学ぼう！」

物部川21世紀の森と水の会、国土交通省、流域3市、高知県等は、物部川清流保全推進協議会に組織し、流域で子どもたちを対象としてさまざまなイベントを開催しています。

物部川でのさまざまな体験をとおして、身近な物部川に関心を持ってもらいたいと考えています。

川あそび教室

主催：物部川21世紀の森と水の会、国土交通省高知河川国道事務所

協力：物部川清流保全推進協議会

内容：水質調査（水生生物採取、パックテスト）、川あそび体験（エビ採取、川流れ）



川あそびの様子



水生生物の観察

環境学習（流域小中学校）

主催：物部川清流保全推進協議会

協力：高知県環境研究センター

内容：物部川流域の概要

水質調査（水生生物採取、パックテスト）、透視度調査、簡易濁度調査など

【お問い合わせ先】

ご希望の学習内容に応じて、河川管理者、物部川漁協、物部川21世紀の森と水の会と協働で実施しますので、お気軽にお問い合わせください。

物部川清流保全推進協議会事務局
高知県環境共生課088-821-4863

生き物の生息環境の整備

「生き物の生息環境を確保しよう！」

物部川21世紀の森と水の会では、森林組合等と協力して河川沿いの水辺林の整備を実施しています。

水辺林を整備することで、さまざまな種類の樹木が繁茂して生き物にとって良好な環境になります。

